

(工学研究科)
2016 年度ドコモ留学生奨学金の募集

H28. 2. 17

1 応募資格 ・ ・ ・ 以下のすべてに該当すること

- 1) 2016 年 4 月に大学院博士課程前期(修士課程)に入学する私費外国人留学生
(在留資格「留学」)
- 2) 専攻分野：通信技術・情報処理技術関連分野
- 3) 以下のいずれかの国籍の者
インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオス
- 4) 他から奨学金を受けない者
- 5) 日本語能力を有する者

2 奨学金の金額、期間

月額 12 万円、 2016 年 4 月から 2 年間

3 推薦人数 工学研究科から 6 名(異なる国籍)を推薦、その後、全学での選考を経て 6 名を推薦。

4 提出書類 (日本語で記入すること)

- 1) 願書(別紙様式 1・写真貼付) 2) 経済状況調書(指定用紙)
- 3) 在学証明書 4) 最終出身大学の成績証明書(写)
- 5) 私費外国人留学生身上調書(指定用紙)
- 6) 家計状況申告書(指定用紙)
- 7) 指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)(指定用紙・厳封＝封印してもらうこと)

**5) ~7) は、2015 年 10 月以降に、他の奨学金応募ですでに提出したことがある場合は不要*

8) 応募者推薦書 (別紙様式 2、指導教員が記入のこと)

**8) については、工学研究科から推薦が決まった後に提出する。*

5 申請書類提出先

工学部・工学研究科教務課国際交流係

6 締切日 平成 28 年 4 月 15 日(金)

平成28年度ドコモ留学生奨学金募集・推薦要項

公益財団法人日本国際教育支援協会(以下「本協会」という。)では、NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(理事長 山田 隆持 氏、NTTドコモグループが設立したNPO法人 以下「MCF」という。)のご支援により、「平成28年度ドコモ留学生奨学金」(以下「奨学金」という。)の受給者を下記により募集する。

記

1. 目的

本奨学金は、アジア地域からの優秀な私費外国人留学生に対して、奨学金を支給することによって、入学後の経済的不安を緩和し、学習効果を高めることに寄与することを目的とする。

2. 奨学金の寄付者及び寄付の趣旨

本奨学金の寄付者であるMCFは、21世紀のマルチメディア社会において情報通信の発展とともに豊かで健全な社会を実現するため情報通信分野における人材の育成及び研究の促進、留学生に対する支援を通じた国際協力の推進並びに社会福祉の増進等、幅広い分野への支援活動を通じて社会全体の利益に寄与することを目的に活動している。

MCFは、アジア地域からの留学生への支援を通して、日本への理解を促進し、日本とアジア諸国との良好な友好関係構築に資することを趣旨として資金を提供された。

3. 応募資格

次の各号のすべてに該当する者。

- (1) 平成28年4月入学者(10月入学者は不可)で、日本国内の大学(以下「大学」という。)に設置されている大学院の修士課程(博士前期課程)1年次に正規生として在籍する私費外国人留学生。また在留資格は留学である事。なお、日本国内の大学は、寄付者と協議の上選定した指定校制とする。
- (2) 下記の①または②の部門を専攻する者。
 - ① 通信技術、情報処理技術及びこれに関連する部門を専攻する者。
 - ② 人文・社会科学等の部門を専攻する者で、研究に「通信や情報処理」が活用されると大学が認める者。
 - ③ (注)②を専攻するものは願書の「留学計画(2)大学院在籍中の研究概要」の欄に研究手法としての通信や情報処理活用の考え方を明記すること。
- (3) インド、インドネシア、韓国、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中国(香港、マカオを含む)、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、モルディブ、モンゴル、ラオスのいずれかの国・地域からの留学生。
- (4) 本奨学金の支給期間中、他の奨学金を受ける予定のない者[貸与型(返済が必要なもの)奨学金、学費免除及び一時金は除く]。
- (5) 留学の目的及び計画が明確で、修学効果が期待できる者。
- (6) 真に経済的援助を必要とする者。
- (7) 心身共に健康であり、かつ品行方正で学業成績が優秀な者。
- (8) 日本語でのコミュニケーションが可能な者(日本語で研究発表が出来る程度)。
- (9) 卒業後は、日本の通信関連企業に就職を希望し、日本と母国の情報通信分野の発展に貢献する意欲がある者。
- (10) 在籍大学の長の推薦を受けることができる者。

4. 採用人数

20名程度

5. 支給内容

月額奨学金：120,000円

6. 支給期間

平成28年4月より平成30年3月までの2年間(ただし、大学における在籍期間中に限る。)

7. 応募・推薦方法

- (1) 本奨学金を受けようとする者(以下「応募者」という。)は、所定の様式による願書を、大学を通じて、本協会理事長(以下「理事長」という。)に提出する。
- (2) 大学の長は、3に掲げる応募資格に該当する者について、8に掲げる応募・推薦書類を、理事長に提出するものとする。
なお、推薦人数については、別途示す。また、複数人の推薦にあたっては、同一の国・地域からの推薦人数は、総推薦人数(実際に推薦する人数)の半数以下とする。

8. 応募・推薦書類

- (1) 願書(別紙様式1。日本語で記載されたものに限る。) 1通
- (2) 応募者の写真(最近6か月以内に撮影したもの。4.0cm×3.0cm、上半身、脱帽、裏面に氏名を記入し、願書の所定欄に貼付すること。) 1葉
- (3) 推薦書(別紙様式2。推薦理由は、指導教官等が記入すること。) 1通

9. 応募・推薦書類の提出期限

平成28年5月13日(金)本協会必着。なお、締切期日を過ぎた場合や提出書類に不備がある場合は、受理しない。また、提出書類は一切返却しない。

10. 選考方法及び結果の通知

理事長は、7の(2)により推薦された者について、寄付者と協議の上書類審査を行い、受給者を決定する。結果は平成28年7月上旬を目途に、大学を通じて通知する。

11. 支給方法

奨学金は、別に定める方法により、大学を通じて支給する。

12. 受給者の義務

- (1) 受給者は、本奨学金支給期間中の学習・研究状況について、学業成績証明書と共に、毎年度末及び奨学金受給終了後、所定の様式により、大学を通じて理事長に提出しなければならない。
- (2) 受給者は、住所・連絡先及び所属先(大学・就職先等)に変更があった場合、本奨学金受給期間中は大学を通じて、受給終了後は直接本協会へ遅滞なく届け出なければならない。
- (3) 受給者は、本協会または寄付者の要請に応じ、アンケート等への回答、あるいは交流会・インターシップ等に参加しなければならない。
- (4) 受給者はMCF主催の受給者交流会に原則として参加する。なお、交流会は平成28年11月に、開催を予定している。また交流会では研究内容を日本語で発表すること。

13. 奨学金の休止または終了

- (1) 受給者が長期欠席した場合は、奨学金を支給しない。
- (2) 受給者が、次の①から④のいずれかに該当した場合には、奨学金の支給を打ち切る。
 - ① 大学を休学又は留年した場合。
 - ② 奨学金受給者の義務を怠った場合。
 - ③ この要項の定める事項に該当しなくなった場合。
 - ④ その他受給者として相応しくないと判断された場合。
- (3) 応募・推薦書類の記載事項に虚偽のある場合は受給決定を取り消す。

14. その他(注意事項)

- (1) 受給者は、原則として、本奨学金の返還義務を負わない。ただし、13. に挙げる事項に該当する場合、すでに支給している奨学金の返還を求める場合がある。また、本奨学金寄付者への入社その他の付帯義務を負うものではない。
- (2) 本奨学金受給生として採用された場合、他の奨学金の受給を目的として辞退することはできない。

15. 個人情報の取り扱い

応募・推薦書類上の個人情報は、本協会の実施する学生支援事業のみ利用し、その他の目的には利用しない。

16. 応募・推薦書類の提出先・問い合わせ先

公益財団法人日本国際教育支援協会 事業部 国際交流課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
TEL:03-5454-5274 FAX:03-5454-5242 E-mail:ix@jees.or.jp

経済状況調査書

Economic Status Report

部局
確認欄

<p>奨学金の受給歴 Scholarship History (受給予定のものを含む) (Include prospective scholarships)</p>	<p>名称 _____ (月額 _____ 円) Name _____ Monthly amount _____</p> <p>受給期間 : _____ 年 月 ~ _____ 年 月 Beneficiary period _____ From _____ To _____</p> <p>名称 _____ (月額 _____ 円) Name _____ Monthly amount _____</p> <p>受給期間 : _____ 年 月 ~ _____ 年 月 Beneficiary period _____ From _____ To _____</p>
<p>経済状況 Economic Status</p>	<p>※ 1ヶ月平均・世帯生計を記入のこと ※ Average monthly household budget</p> <p>収入 _____ 円 Income _____</p> <p>【内訳】 仕送り _____ 円 Breakdown Remittances from home</p> <p>自己資金 _____ 円 Self-financed _____</p> <p>アルバイト _____ 円 Part-time jobs _____</p> <p>TA・RA _____ 円 TA・RA _____</p> <p>奨学金 _____ 円 Scholarship _____</p> <p>その他 _____ 円 (内訳 _____) Other _____ Breakdown _____</p> <p>同居の配偶者等の収入 Income of spouse living with you</p> <p>アルバイト _____ 円 Part-time jobs _____</p> <p>TA・RA _____ 円 TA・RA _____</p> <p>奨学金 _____ 円 Scholarship _____</p> <p>その他 _____ 円 (内訳 _____) Other _____ Breakdown _____</p>
<p>宿 舎 Housing</p>	<p>家賃月額 _____ 円 Monthly rent _____</p> <p><input type="checkbox"/> 国際交流会館 <input type="checkbox"/> ユニバーシティ・ハウス International House University House</p> <p><input type="checkbox"/> 企業等の社宅 <input type="checkbox"/> 県・市営住宅 <input type="checkbox"/> 民間アパート・住宅 Company housing Prefectural and municipal housing Private apartments and housing</p> <p><input type="checkbox"/> その他 (_____) Other _____</p>
<p>授業料 Tuition</p>	<p>本年度前期分 1st semester this year</p> <p><input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除申請中 Total exemption Half exemption Exemption pending</p> <p>本年度後期分 2nd semester this year</p> <p><input type="checkbox"/> 全額免除 <input type="checkbox"/> 半額免除 <input type="checkbox"/> 免除申請中 Total exemption Half exemption Exemption pending</p> <p><input type="checkbox"/> 自己負担 _____ 円 Self-financed _____</p>
<p>総長特別奨学生 President Fellowship</p>	<p><input type="checkbox"/> 総長特別奨学生です <input type="checkbox"/> 総長特別奨学生ではありません I have a President Fellowship scholarship I do not have a President Fellowship scholarship</p> <p>※総長特別奨学生で民間奨学金に採用された方は、授業料免除申請を取り下げなければならない 場合がある為、各学部研究科奨学金担当係に確認して下さい</p> <p>President Fellowship scholars who are also selected to receive private scholarships may be required to withdraw their exemption applications. Please inquire with the staff in charge of scholarships at your graduate school.</p>
<p>上記のとおり相違ありません。 _____ 年 月 日 I certify that the above information is correct and accurate. Date</p> <p>学籍番号 _____ 氏名 _____ Student numbers Name</p> <p>署名 _____ Signature</p>	

注意) ・記載事項に虚偽が認められたときは、選考の対象としません。
Warning ・If any of the entered information is found to have been falsified, your application will be disqualified.

別紙

成績評価係数 計算方法

下記の計算式により小数点第二位まで算出（小数点第三位を四捨五入）した数字を成績証明書(写)に記入して下さい。

[成績評価係数の算出方法]（小数点第三位を四捨五入）

4段階評価（パターン1）	成績評価				
	優	良	可	不可	
4段階評価（パターン2）	A	B	C	F	
4段階評価（パターン3）	100～80点	79～70点	69～60点	59点～	
5段階評価（パターン4）	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59点～
5段階評価（パターン5）	S	A	B	C	F
5段階評価（パターン6）	A	B	C	D	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

[計算式]

$$\frac{(\text{「評価ポイント3の単位数」} \times 3) + (\text{「評価ポイント2の単位数」} \times 2) + (\text{「評価ポイント1の単位数」} \times 1) + (\text{「評価ポイント0の単位数」} \times 0)}{\text{総登録単位数}}$$

※合格の評価は加算しない。（係数値算出から除外）

－奨学金申請時の心得について－

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2016.02.03

1 申請の前に

- ・募集要項をよく読み、自分が条件に合っているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。(認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります)
- ・他の財団に大学推薦されている場合は、結果が未定でも新たに申請することは出来ません。
(ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます)
- ・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合は交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

2 申請書類について

- ・継続申請の場合も、前回のものを流用せず新たに願書を作成してください。
 - ・消えるボールペン(フリクション)は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。
(消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません)
 - ・なるべく修正液(テープ)や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。
 - ・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。
 - ・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。
 - ・相手方に失礼のないよう、少なくとも記入欄の5～8割(文字数指定がある場合は7～8割)は記入するようにしてください。
 - ・すべて書き終えたら、記入漏れなどがいないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし(数字なら0)」等と記入して下さい。
- ※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

3 その他

- ・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合には指導教員または所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。
- ・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。その際は必ず所属部局の奨学金担当係に確認してください。
- ・申請に必要な書類に不足はないか、提出の前に必ず確認してください。特に過去の成績証明書の不足が多いので注意して下さい。
- ・大学を通さず直接応募または継続受給を希望し採用された場合は、必ずその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

2015.10月現在

1. 身分・名前等

身分	学部 年、学部研究生、 MC 年、DC 年、大学院研究生		学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員名	研究室 TEL	
氏名	(漢字)			既婚・未婚
生年月日	年 月 日生 (年齢 才)		国籍	
東北大学 入学前の 在籍大学	年 月 卒業・修了			
東北大学で の移動 (新しい順 番に)	年 月 ~ 現在			
	年 月 ~ 年 月			
	年 月 ~ 年 月			
住居 (○で囲む)	東北大学国際交流会館 三條ユニバーシティハウス 仙台第一国際交流会館 仙台第二国際交流会館 県・市営アパート(住所) 民間アパート(住所)			

2. 家庭状況 (現在同居する者だけを記入してください。)

配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する)

氏名	続柄	年齢	勤務先または学校名

指導教員による成績評価(私費外国人留学生各種奨学金申請用)

この評価は、指導されている私費外国人留学生が各種奨学金へ応募する際に記入していただくものです。(2015年10月以降に、他の奨学金で既に提出済みの場合は不要です。)

- 1) 研究室内の他の学生を基準にして、相対的に評価をお願いします。
- 2) 評価はA・B・Cのいずれか、または、評価不能(指導して日が浅い場合など)を該当欄に○印をお願いします。

留学生氏名: _____

所 属: _____ 学科・系 _____ 年次・研究生
_____ 専攻・前期 _____ 年次・研究生
_____ 後期 _____ 年次・研究生

評価	成績評価内容
	A(非常に優秀)
	B(優秀)
	C(良好)
	評価不能

* 評価不能の場合、その理由を記入ください

理由:

平成 年 月 日

記入者(指導教官、クラス担任等)

所属 _____
官職 _____
氏名 _____ 印

* 2015年10月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在籍	学部 年	学籍番号	
	MC 年、DC 年、大学院研究生		
氏名			

家計状況

* 2014年10月から2015年9月までのあなたの家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 2015年4月入学の方は、2015年4月から2015年9月の家計状況について、1ヶ月を平均して記入してください。

* 収入と支出の合計が同じになるように記入してください。

収入		支出	
自国の家族等からの送金	円	食費	円
奨学金(本人)	円	家賃	円
奨学金(同居家族)	円	光熱水料費	円
アルバイト(本人)	円	交通・通信費	円
アルバイト(同居家族)	円	その他	
貯金から	円 ()		円
その他	()		円
()	円 ()		円
()	円 ()		円
合計	円	合計	円

奨学金受給状況

* これまでに奨学金をもらったことがありますか？ 有り・無し (○で囲む)

* 有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間		月額・年額(○で囲む)	奨学金の名称
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	
年 月 ~	年 月	月額・年額 円	

授業料免除の状況(研究生の期間を除く)

* 該当箇所を○で囲む

平成27年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成26年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
平成25年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請したが不許可だった